

議事録 地域密着型サービス 運営推進会議 (第 50 回)

施設名: 小規模多機能型居宅介護 MILK新

施設種類: 小規模多機能型居宅介護

日時: 令和 7 年 9 月 18 日(木) 14 時 30 分～14 時 45 分

場所: MILK 新 地域交流室

出席者

利用者代表	0 人	有識者	0 人
利用者家族	0 人	高齢者あんしん支援センター職員	1 人
地域住民の代表	4 人	出雲市高齢者福祉課職員	1 人
その他(施設長・施設職員)			3 人

1) 利用状況

登録者数 (8 月 31 日現在) 8 名

男性 1 名 女性 6 名

要介護度別

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
2 名	3 名	1 名	0 名	1 名

地域別

出雲	斐川	平田
3 名	2 名	2 名

2) 行事報告

○レク活動

紙芝居・脳トレ・ホワイトボードレク

○地域交流

特になし

○スタッフ研修

社内研修

社外研修

介護福祉士実務者研修 1 名

MILK: レクリエーションに関して、今まで暑かったので控えていましたが涼しくなってきたら外出もできると考えています。また、これまで本会議で使用しているこのホールも地区の皆様にも有料ですが開放しており、段ボール模型などの展示物を何度か展示し、そのなかには地域の方にチラシを配って広くお誘いするなどもしたことがあります。このようなことがまたできればと思っていますので、そのようなお話があればまた教えてください。

3) 事故・ヒヤリハット報告

転倒 1 件

宿泊中に、居室設置のトイレを使用される際にベッドから降りたところ床に転倒となり、その後ナースコールで職員を呼ばれた。

転倒時にぶつけた個所に擦過傷はあったがバイタル等に異常なく、そのまま経過観察とする。その後特変はなく、その他に痛みの申し出や打撲痕等も無かった。家族様へ連絡し経緯と謝罪し、ご了承いただいた。

MILK: 居室内に設置してあるトイレを使用しての事故でした。以前に比べ日常動作がぎこちなくなっておられた上に視力の低下もありました。転倒のリスクが上がっていることを職員間で共有していました。利用者様自身も自分の体の動きが悪くなっている認識をお持ちでしたが、ほとんどのことはご自分でしようとされる場面も多く、スタッフがかけつけることもありました。

そのため夜間は特にナースコールのお願いをしていましたが未使用も多く、今回の転倒となりました。

地域代表：どのようにしていたら防げたのでしょうか？

MILK： 日中は職員が来るのを待って下さったり、声を掛けて下さることもありましたが、居室内での動作時はほとんどコール無しで、廊下にも出て来られることもありましたが、居室のトイレ周りは動きやすいように導線を作っていましたので、それを移動させる方がリスクがありました。

トイレの時間常に職員が入室したり、改めて本人様には遠慮なくコールを鳴らしてもらうこと、そして家族様からもナースコールを使用して頂くよう話しをして頂きました。

4) 定例避難訓練および消防訓練

避難訓練 7月25日

5) 意見交換

次回開催は 令和7年11月中旬ごろの予定です